



ニュース 環境 NEWS

2020年12月号 (No.9)

環境清掃課
〒443-0105
西浦町口田土1番地
TEL 0533-57-4100
FAX 0533-57-3924

今回のテーマ

カーボンニュートラル宣言と
蒲郡市の取り組み

蒲郡市では地球温暖化防止対策に向けた取り組みとして、市民一人ひとりが地球温暖化問題に対する関心を高め、環境にやさしい行動をとっていただけるように、地球温暖化対策に関する様々な情報を、「環境NEWS」として月1回発行してまいります。

「2050年カーボンニュートラル宣言」

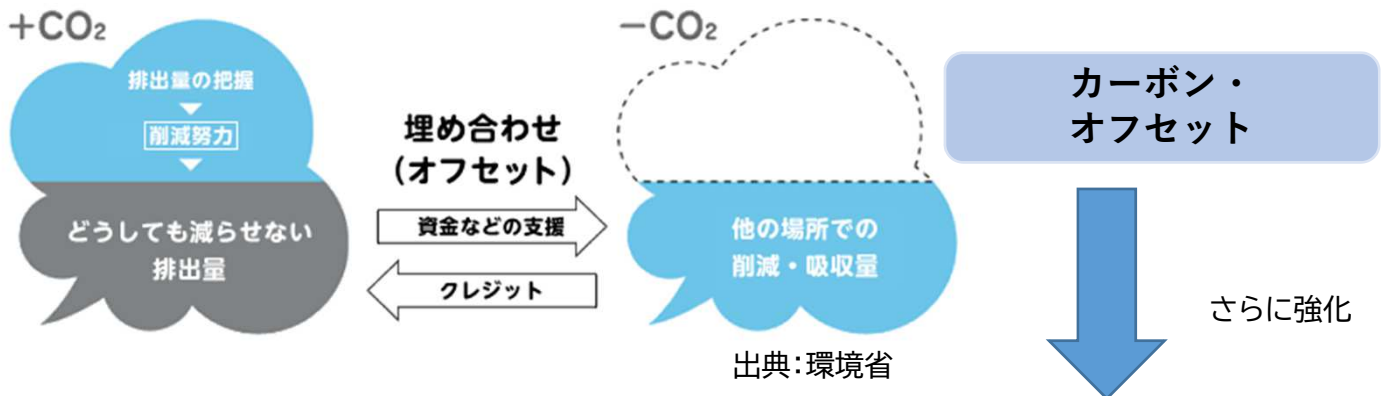
去る令和2年10月26日、菅首相は臨時国会の所信表明演説で、「わが国は2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする、すなわち『2050年カーボンニュートラル』、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします」と表明しました。実現に向けて、既存の技術だけでなく新たな技術の社会実装に重点的・計画的に取り組むとしています。

ところで、「実質ゼロ」とはどのようなことなのでしょうか。それには、「カーボン・オフセット」の考え方を理解する必要があります。

「カーボン・オフセット」と「カーボンニュートラル」

環境省によれば、カーボン・オフセットとは、私たちの活動によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスをできるだけ減らすように努力をした上で、それでも排出が避けられない温室効果ガスを、他の場所での削減・吸収活動(削減・吸収量)により全部または一部を埋め合わせをしようとする考え方のことで、下の図のようなイメージです。

「他の場所」とは、森林など自然の育成や、再生可能エネルギーの利用、高効率省エネ機器の導入などの方法を指します。他の場所で削減された温室効果ガスを決められた方法に基づいて数値化し、「クレジット」として取引を可能にします。このクレジットを購入することで、排出された温室効果ガスを無効化するという考え方が「カーボン・オフセット」です。



「カーボン・オフセット」の取組をさらに推し進め、排出されるすべての温室効果ガスを他の場所で埋め合わせすることを「カーボンニュートラル」といいます。これが、「実質ゼロ」の仕組みです。

菅首相は、2050年までにこの「カーボンニュートラル」の実現を宣言したことになります。

カーボン・オフセットの詳細や取り組み事例は環境省ホームページ内の「カーボン・オフセット・フォーラム」をご覧ください。

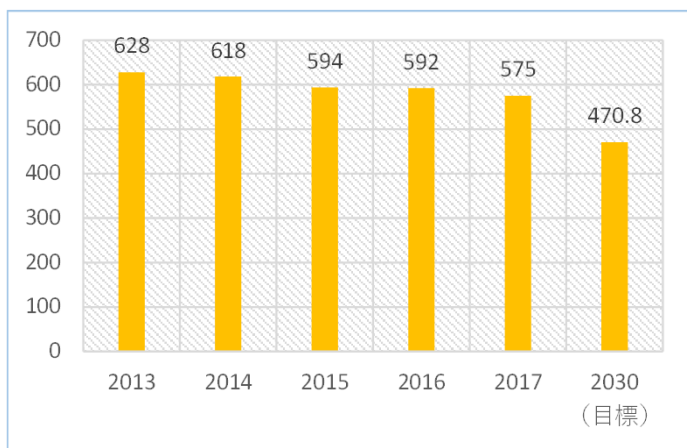
温室効果ガスの
排出を実質ゼロへ

蒲郡市の取り組み『蒲郡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』

2050年に向けた動きが盛んとなっていますが、その20年前の2030年度(令和12年度)までにわが国では、パリ協定に基づき「温室効果ガス排出量を2013年度(平成25年度)比で26%減少」という目標を掲げています。蒲郡市においても蒲郡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)のなかで、蒲郡市域から排出される温室効果ガスについて同様の目標を掲げております。環境省による最新のデータは2017年度(平成29年度)のもので、下のグラフのとおりです。蒲郡市から排出されている温室効果ガスは年々減少しています。

温室効果ガス排出量の推移(蒲郡市)

(千トン-CO₂)



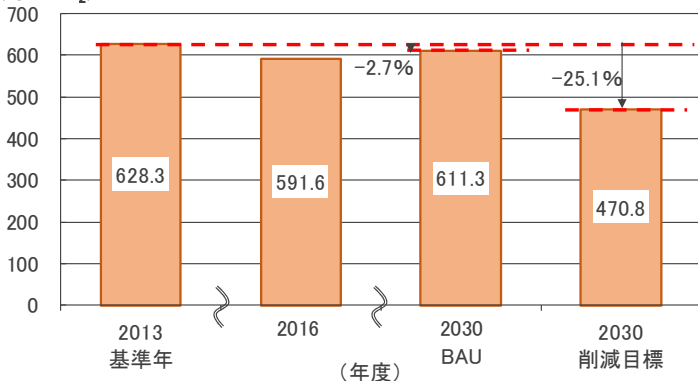
蒲郡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)については、環境ニュース4月号もご覧ください！

2030年度(令和12年度)の排出量目標470千t-CO₂に向け、さらなる温暖化対策が必要となります。

資料:「部門別CO₂排出量の現況推計」より作成(環境省)

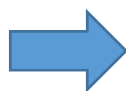
温室効果ガス排出量の将来推計(蒲郡市)

(千t-CO₂)

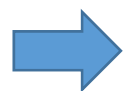


特に温暖化対策を行わない状態で2030年度(令和12年度)を迎えると、排出量は611.3千t-CO₂となることが予想されており、目標の排出量には遠く及びません。今後も環境ニュースでは地球温暖化対策に関する様々な情報を発信してまいりますので、ぜひご覧いただきまして、地球温暖化の防止にご協力をお願いいたします。

現在



2030



その先へ

26%減

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

